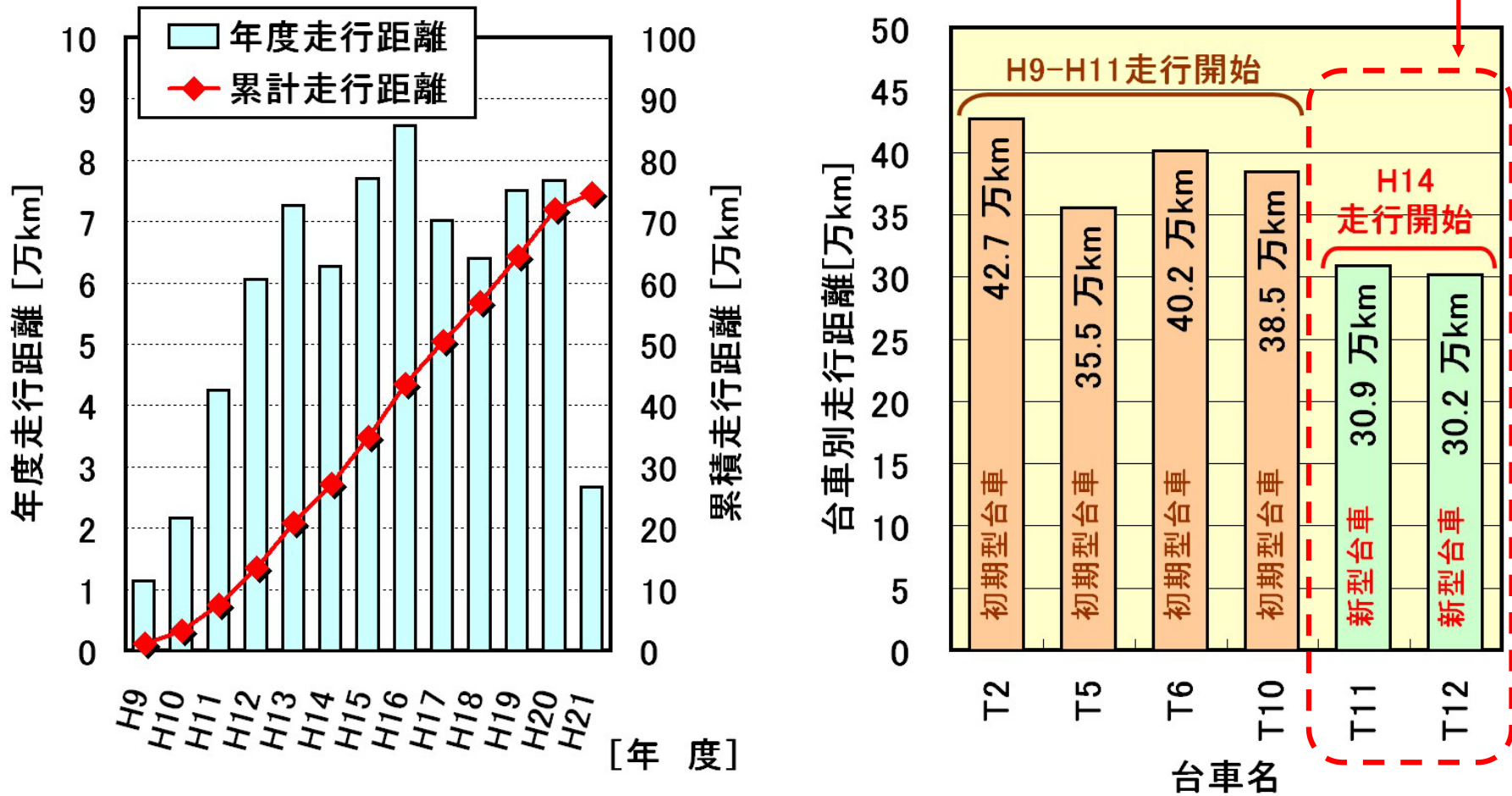


前回評価委員会の検討課題についての報告事項の例

— 先行区間における長期耐久性検証状況 —

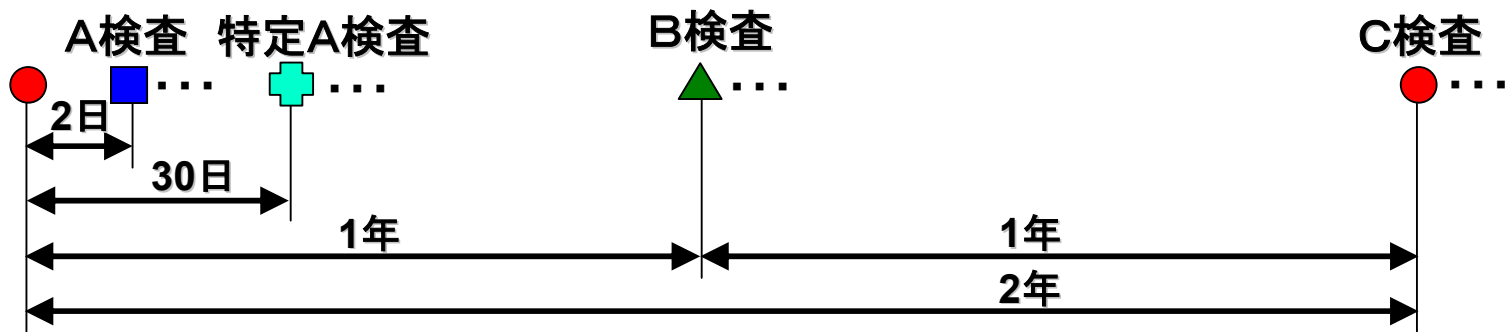
- ▶ 山梨実験線先行区間における累積走行距離は74万kmを達成。
- ▶ 第14回評価委員会(平成18年12月)において長期耐久性検証対象台車とされたT11、T12について、先行区間における長期耐久性の目標の30万kmを達成した。



— 保守の考え方 —

- ▶ 超電導リニアはレール・車輪及び架線・パンタグラフ等がなく、走行距離に比例して摩耗する部品が少ないことに特色があり、新幹線や航空機の保守体系を参考にして保守の考え方を整理した。

〔例: 超電導磁気浮上式鉄道車両検査周期〕



〔参考: 新幹線車両検査周期〕

